

本日、議会におきまして、議員各位並びに市民の皆様に対しまして、正式に表明をさせていただきたいと存じます。

私は、市長就任以来、一貫して、市民が主役の開かれた市政を基本に、会津地域全体の活性化を念頭に置きながら、夢と活力に満ちた元気な会津若松市の実現に向け、全力を傾注して市政運営に取り組んで参りました。

その結果といたしまして、行財政基盤の強化や市町村合併後のまちづくり、さらには、地域活力の再生に向けた取り組みについて一定の成果をお示しできたものと確信しております。

しかしながら、現在の我が国日本の経済状況、社会情勢に目を転じますと、未だ長期的な経済不況から脱することの出来ない、きわめて不安定、かつ、不透明な状況にあります。

このような社会経済状況において、本市並びに会津地域をより一層活性化させていくためには、地域の状況を詳細にわたり熟知し、国政の場で地域の声を力強く反映させていくことが必要ではないかと認識をいたしているところであります。

その意味から、私といたしましては、3期11年半にわたり会津地域の中核を担う本市市長として積み上げて参りました私の経験と知識を活かし、会津地域のさらなる活性化に向け、国政の場でその役割を果たしていくべきか、再度市長として、これまでの取り組みを引き続き行うべきかについて、ご支援して下さる方々をはじめ、各界各層の皆様からのご意見を拝聴しながら、熟慮に熟慮を重ねて参ったところであります。

昨日、私はご支持、ご支援をいただいております後援会

の皆様から、今後につきましては、国政へ進むべきとのご支持をいただいたところであります。

これらを踏まえ、私は、これまでの検討の結果といたしまして、この3期11年半の期間の中で、行財政基盤の強化やまちづくり全般にわたり一定の成果をお示しできたこと、さらには、今後のまちづくりの方向性につきましても一定の道筋を確立できたとの判断から、次の市長選には立候補しないことを決断いたしました。

そして、今後につきましては、これまで多くの皆様のご理解とご協力に支えられながら培って参りました政治家としての私の経験と知識を活かし、私たちのふるさとであります会津地域のさらなる発展のため、国政の場で全身全霊を傾注し、この身を捧げて参りますことこそが、今日、私に課せられました使命であり責務であると判断し、国政を目指して参るという考えに至った次第でございます。

以上、私の今後の進退について申し述べさせていただきましたが、誇りと輝きに満ちたふるさと会津のさらなる飛躍のため、今後とも全力をもって取り組んで参る所存でありますので、何とぞ、議員各位並びに市民の皆様におかれましては、私のこの決断に深いご理解を賜りますとともに、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。